

## 保健管理センター 50年の歩み

	法律、慶應義塾全体の内容	保健管理センターに関わる内容
1972 昭和47年 1月		保健管理室日吉分室完成（現在の場所に移転） 保健管理を一層充実させるため、機構を一新することとなった。
昭和47年 2月 8日		慶應義塾大学保健管理センター規程制定
昭和47年 3月	工学部新校舎が日吉矢上台に完成（矢上キャンパス）	
昭和47年 4月		保健管理センター発足 本部を日吉に移行 大学の附置研究施設として設置された。 教員組織を明確にした。 →保健管理センター発足により、医師は教員でも職員でもない「医師」という区分から、「教員」（助手～教授）として位置づけられた。
		本部は日吉に置かれ、分室は三田、医学部、工学部、高等学校、志木高等学校、女子高等学校、普通部、中等部、幼稚舎の9ヶ所に置かれた。 発足時、所長は常任理事が兼務 副所長は2名体制で、1名は医師、1名は事務であった。 初代所長：常任理事三雲夏生文学部教授 初代副所長：（医師）増田義徳教授、（事務）松本銀之助氏（保健管理室室長より継続）
昭和47年10月		専任の所長として増田義徳教授が2代目所長に就任 副所長は医師と事務の2名体制が継続 副所長：（医師）関原敏郎助教授、（事務）松本銀之助氏
1974 昭和49年 6月		副所長（事務）に小宮山鐵雄氏就任（松本銀之助氏と交代） 全国大学保健管理協会関東甲信越地方部会研究集会を当番校として開催
1975 昭和51年		全国大学保健管理協会関東甲信越地方部会研究集会を当番校として開催
昭和51年10月		3代目所長に関原敏郎教授が就任 副所長（医師）に永野志朗専任講師が就任 副所長（事務）に中江広一氏が就任（小宮山鐵雄氏と交代）
1979 昭和54年10月	大学計算センター発足	副所長（事務）に浅賀政明氏が就任（中江広一氏と交代）
1982 昭和57年 3月26日		慶應義塾大学保健管理センター規程および慶應義塾大学保健管理センター運営委員会規則一部改正（昭和57年 4月 1日施行）
昭和57年 4月		副所長（事務）が「事務長」の役職に変更となり、副所長は医師1名体制となった。 初代事務長に浅賀政明氏が就任
昭和57年12月		慶應保健第1巻 第1号発刊
1988 昭和63年 4月	看護短期大学開設 医学部附属厚生女子学院を改組し、3年制短期大学として発足	幼稚舎養護教諭の定年退職に伴い、幼稚舎分室へ保健管理センター保健師が就任した。
1989 平成元年 4月		保健管理センターの健康診断で体育判定開始。従来の入力票を2枚綴りから3枚綴りへ増やし、本人用、入力用に加え体育用を追加した。 保健管理センターの健康診断結果提出（入力票体育用）により体育実技の履修が可能となった（前年度まで、学生は体育実技履修のために別途健康診断を受けていた）。そのため短期間のうちに新入生の健康診断実施が必要となり、体育研究所の協力にて、新入生の健康診断を記念館で実施することになった。
1990 平成 2年 4月	湘南藤沢キャンパスに総合政策学部・環境情報学部を開設 総・環の2学部は、ウェルネス科目として1年生で保健衛生1単位、体育実技1単位、体育理論0.5単位が、また2～4年生で体育実技1単位以上、保健理論0.5単位以上が必要とされた。 SFCでコミュニケーションツールとして電子メール使用開始。	湘南藤沢分室設置、分室は計10カ所となった。

		法律, 慶應義塾全体の内容	保健管理センターに関わる内容
1990	平成2年10月1日 平成2年11月 平成2年10月23日	ニューヨーク学院(高等部)開校	日吉, 三田の各キャンパスに慶應義塾日吉, 三田診療所開設 慶應義塾大学保健管理センター規程の一部改正(同年11月9日施行)
1991	平成3年4月 平成3年7月 平成3年10月 平成3年10月	大学設置基準の大綱化	中等部養護教諭の異動に伴い, 中等部分室へ保健管理センター保健師が就任する。これに伴い全ての分室が保健管理センターの管轄となった。 湘南藤沢キャンパスに湘南藤沢診療所開設 第4代所長に永野志朗教授が就任 副所長に齊藤郁夫助教授が就任
1992	平成4年4月	湘南藤沢中等部・高等部開校	慶應義塾大学保健管理センター規程の一部改正(同年4月1日施行)。 条文中に分室名を明記することになる。分室は三田, 医学部, 矢上, 湘南藤沢(中等部・高等部を含む), 高等学校, 志木高等学校, 女子高等学校, 普通部, 中等部および幼稚舎の計10カ所になった。 湘南藤沢キャンパスは一分室として設置し, 大学担当と中高等部担当として分けた。
1993	平成5年4月	大学設置基準の大綱化により, 文・経・法・商・医学部入学者は, 保健体育科目4単位(講義2単位, 実技2単位)が卒業必要単位から除外された。 理工学部入学者は, 保健体育科目4単位のうち実技2単位のみ卒業必要単位となり, 講義2単位は卒業必要科目から除外された。	保健衛生は1単位の選択科目となった。
1994	平成6年 平成6年7月22日 ～23日		従来の慶應保健のうち, 医学研究・調査等の論文を中心とする研究業績を「慶應保健研究」として発刊 全国大学保健管理協会関東甲信越地方部会研究集会の当番校として, 三田キャンパス北新館にて開催。
1995	平成7年1月 平成7年3月 平成7年10月 平成7年11月 平成7年12月	医学部(四谷)キャンパスの呼称を「信濃町」とすることに正式決定 WEBサイト(www.keio.ac.jp)発足	慶應義塾大学保健管理センター規定の一部を改正。医学部分室を信濃町分室に名称変更する。 第5代所長に齊藤郁夫教授が就任 副所長に南里清一郎助教授が就任 従来の慶應保健のうち, センター業務に関する統計等を「慶應義塾大学保健管理センター年報」として発刊
1996	平成8年		いくつかの諸学校において保健室会議(保健連絡会)の開催を開始
1997	平成9年3月 平成9年4月 平成9年	業務用ネットワーク(ADST)運用開始	保健管理センター開設25周年 保健管理センター開設25周年を記念して小学校から高等学校までの児童・生徒の保護者, 教職員を対象とした講演会を4回開催。その講演内容を冊子にまとめ保護者へ配布した。以後, 同様の講演会を毎年継続して実施。
1998	平成10年11月25日 ～26日		第36回全国大学保健管理研究集会を財団法人全国大学保健管理協会とともに主催, パシフィコ横浜で実施した。
2001	平成13年3月 平成13年4月	ホストコンピュータサービス停止 看護短期大学を改組し, 湘南藤沢キャンパスに看護医療学部を開設	看護医療学部の発足により, 湘南藤沢分室に看護医療学部担当を設ける。湘南藤沢分室は, 大学担当, 看護医療学部担当, 中等部・高等部担当の3ヶ所を担う。
2002	平成14年2月 平成14年5月	「諸学校」から「一貫教育校」へ呼称変更	慶應義塾大学保健管理センター規程の一部を改正(同年4月1日施行)

	法律, 慶應義塾全体の内容	保健管理センターに関わる内容
2003 平成15年 4月		保健管理センター設置講座(2単位)を春学期に日吉キャンパスで開設
平成15年10月		副所長に河邊博史教授が就任
2004 平成16年 1月		慶應義塾大学保健管理センター規程の一部を改正(同年4月1日施行)
平成16年 5月		一貫校にAED設置開始
2005 平成17年 1月	大学評議会において健康診断の受診は全員の義務であることを再確認し, 学生の受診を全塾的に推進すること, 受診しないものにはペナルティとして学割を発行しないこととした。	2003年度に健診未受診の学生が結核を発症, 同じ教室で試験を受けた学生約130名が感染し, かなりの発症者が出た。大学評議会での確認に基づき, 健康診断受診の推奨を強力行った。この年より, 学事課から保護者宛に発送する成績に健診受診勧奨の文書を同封, 理工学部学生のために矢上キャンパスでの健診実施などを開始した。
平成17年 7月		大学にAED設置開始
2006 平成18年		学生健康診断結果をWEBにより閲覧可能とした。
2007 平成19年		保健管理センター設置講座「現代社会と医学I, II」が卒業時に単位として認定されるようになった。 2007年度から, 春学期に日吉, 三田キャンパスで開講。2008年度からは春学期・秋学期ともに日吉・三田で開講となった。
平成19年 5月	大学生の間で麻疹が流行。本塾でも34人の感染が確認されたことから, 5月26日から1週間, 休校・休講の措置がとられた(最終的には76名の罹患が確認された)。	
2008 平成20年 1月		大学において, 学校感染症罹患者に復学時面接を開始。
平成20年 4月	学校法人共立薬科大学との合併により芝共立キャンパス, 浦和共立キャンパスが新たに加わった。	慶應義塾大学保健管理センター規定の一部を改正(同年4月1日施行)。 薬学部の発足により, 芝共立分室設置。分室は計11カ所となった。
2009 平成21年	新型インフルエンザ発生, 大学生では1,500名の罹患が報告された。	感染症報告がWEB経由で登録可能となった。
2010 平成22年 7月		矢上キャンパスに矢上診療所開設
2011 平成23年10月		第6代所長に河邊博史教授が就任 副所長に森正明准教授が就任
2012 平成24年 8月 1日 ～ 2日		第50回全国大学保健管理協会関東甲信越地方部会研究集会を三田キャンパスにて主催した。
平成24年 8月	大学病院予防医療センター開設	人間ドックの医師結果説明などを交代で担当している。
2013 平成25年 4月	横浜初等部開校	横浜初等部発足により, 横浜初等部分室設置。分室は計12カ所となった。  WEB上で「健康情報シリーズ」提供開始。アップデートな話題を取り上げ, わかりやすく解説している。
2014 平成26年 9月 3日 ～ 4日		第52回全国大学保健管理研究集会を公益財団法人全国大学保健管理協会とともに主催, 三田キャンパスで実施した。
2017 平成29年10月		第7代所長に森正明教授が就任 副所長に横山裕一准教授が就任
2018 平成30年 8月 2日 ～ 3日		第56回全国大学保健管理協会関東甲信越地方部会研究集会を三田キャンパス南校舎ホールにて主催した。
2020 令和 2年 3月～	新型コロナウイルス(COVID-19)が流行し, 緊急事態宣言が度々発令された。	キャンパス閉鎖が相次ぐ中, 遠隔診療などを実施した。
2021 令和 3年 6月21日 ～ 9月15日		三田キャンパスで新型コロナウイルスのワクチン接種(2回で延べ98,026名)を実施した。
2021 令和 3年10月		副所長に広瀬寛准教授が就任
2022 令和 4年 3月22日 ～ 31日		三田キャンパスで新型コロナウイルスのワクチン接種(3回目, 5,559名)を実施した。
2022 令和 4年 5月21日 ～ 28日		三田キャンパスで新型コロナウイルスのワクチン接種(3回目, 902名)を実施した。